

# ランピースキン病が九州で初確認されました！

11月6日、福岡県で、ランピースキン病が初めて国内で確認されました。  
本病はアジア圏において広い地域で確認されています。

## 【発生状況（11月11日現在）】

福岡県 3農場（乳用2農場、乳用・肉用1農場）

熊本県 1農場（乳用1農場）

- ✓ 毎日の健康観察を徹底してください。
- ✓ ランピースキン病を疑う症状が見られたら速やかに家畜保健衛生所にご連絡ください。
- ✓ 必要に応じてハエ、カ、ヌカカ、ダニ等の駆除を行ってください。



## 【ランピースキン病とは】

牛の急性・亜急性ウイルス性伝染病。  
アフリカ大陸のほとんどの地域で発生。

【感染様式】 昆虫（節足動物）の媒介、  
唾液との接触

【死亡率】 1～75%

【症状】 発熱、多数の結節、発疹や水腫

【結節等の好発部位】

皮膚、皮下、呼吸器・消化器粘膜

【予防・治療】 有効な治療法はない

（農研機構 動物衛生研究部門HPより）



写真：発症牛の皮膚結節病変

**家畜に異常がみられたら、速やかに当所に連絡して下さい**

愛知県東部家畜保健衛生所  
保健衛生課(防疫第1グループ)  
電話:0532-45-1141  
FAX:0532-48-8943

夜間・休日緊急連絡先  
090-8555-9041  
090-1725-6037